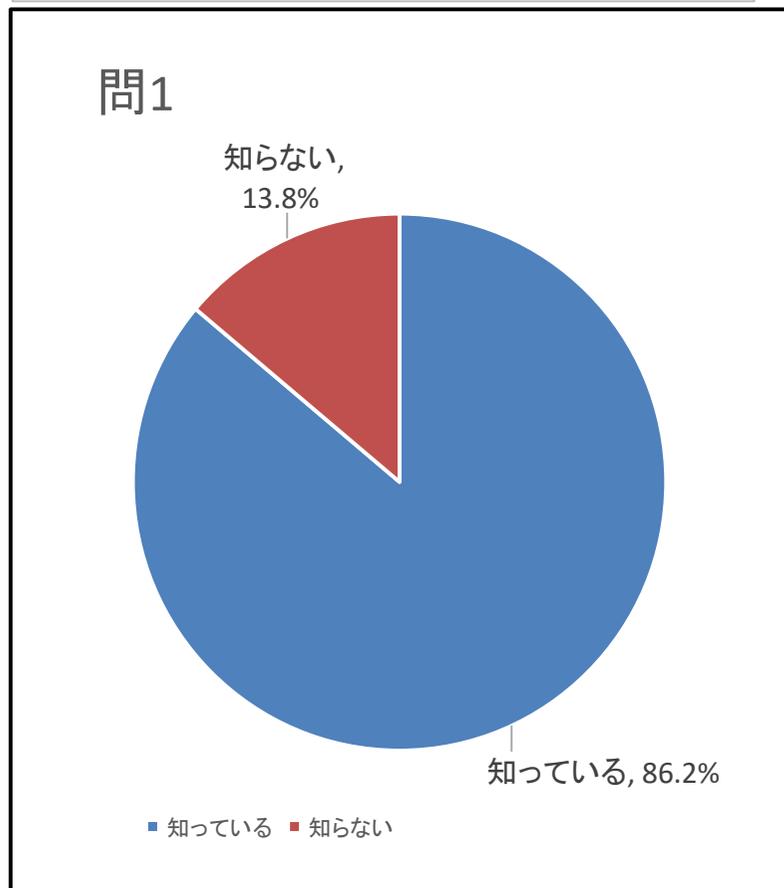


「人権に関する町民意識調査」結果の概要について

1. 人権一般について

(1) 基本的人権に関する認知度

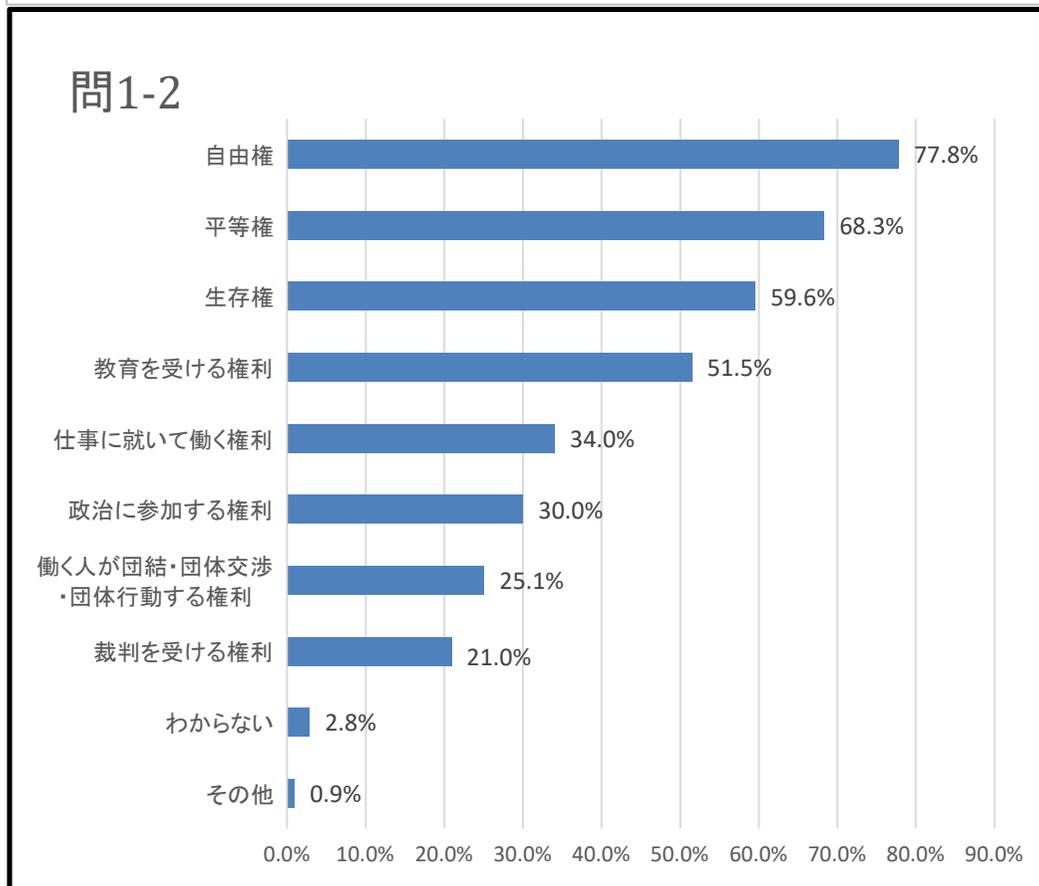
問1: 基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。(1つ)



・「知っている」86.2%。前回(88.9%)より2.7ポイント低下。
・R1山口県調査(87.8%)より1.6ポイント低い、H29内閣府調査(81.4%)より4.8ポイント高い。

(2) 関心のある基本的人権

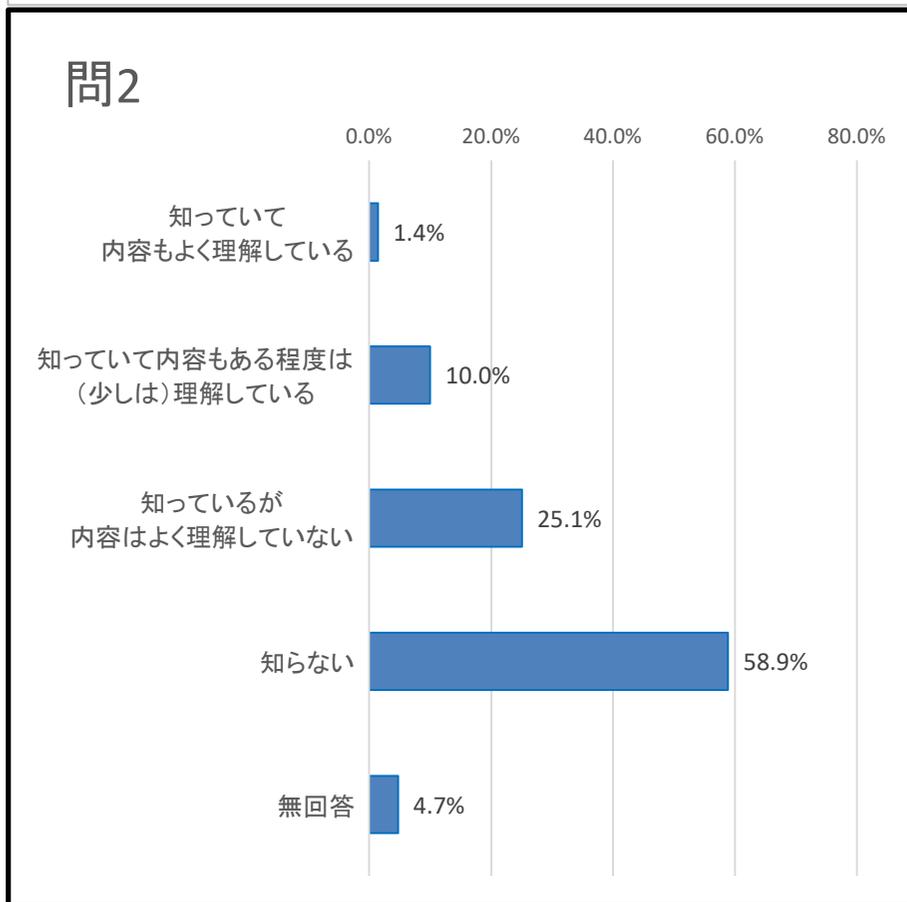
問1-2: 問1で知っているを選んだ人のみ
憲法で保障されている基本的人権のうち、あなたが日常生活の中で特に関心を持っているものはどれですか。(いくつでも) [H20調査:3つまで]



・前回同様、「自由権」(前回75.5%)、「平等権」(前回63.3%)、「生存権」(前回58.0%)、「教育を受ける権利」(前回30.2%)の順に高く、いずれも5割を超えている。

(3) 山口県人権推進指針の理解度

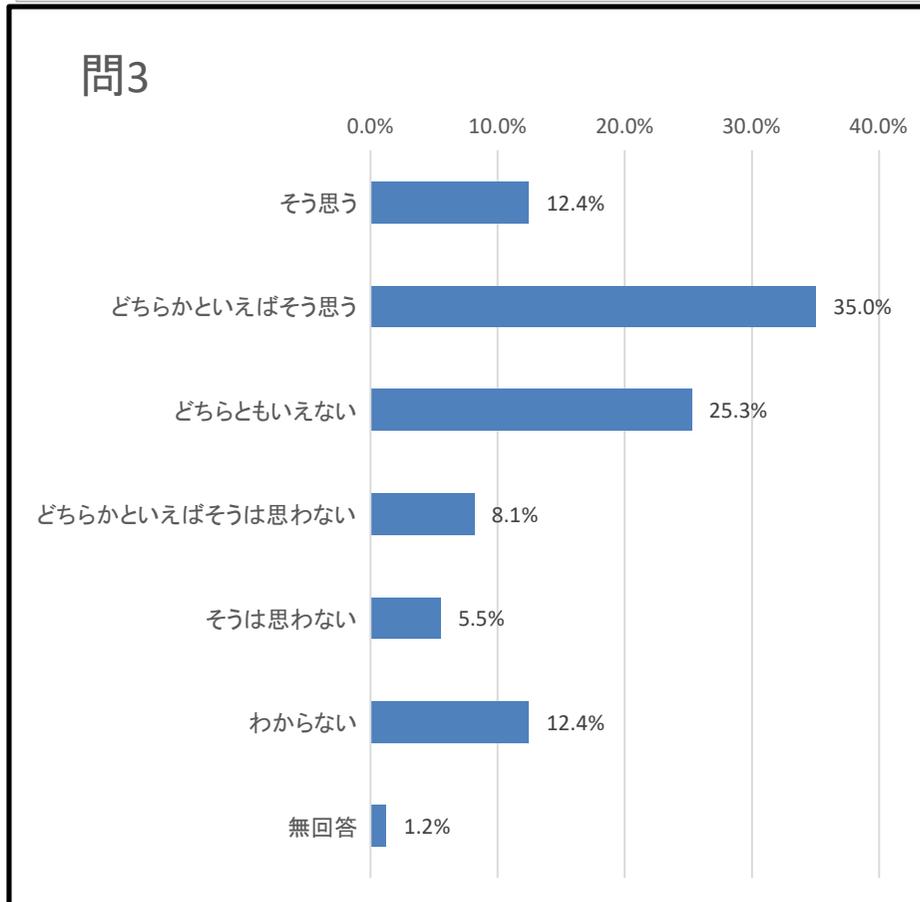
問2: 山口県では、「山口県人権推進指針」を策定し、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。このことを知っていますか。(1つ) [H20調査: 選択肢2つ]



・「知っている(計)」は前回「知っている」より10.4ポイント上昇(21.1%→36.5%)しているものの、理解度は決して高い状況にはない。

(4) 人権尊重意識の定着状況

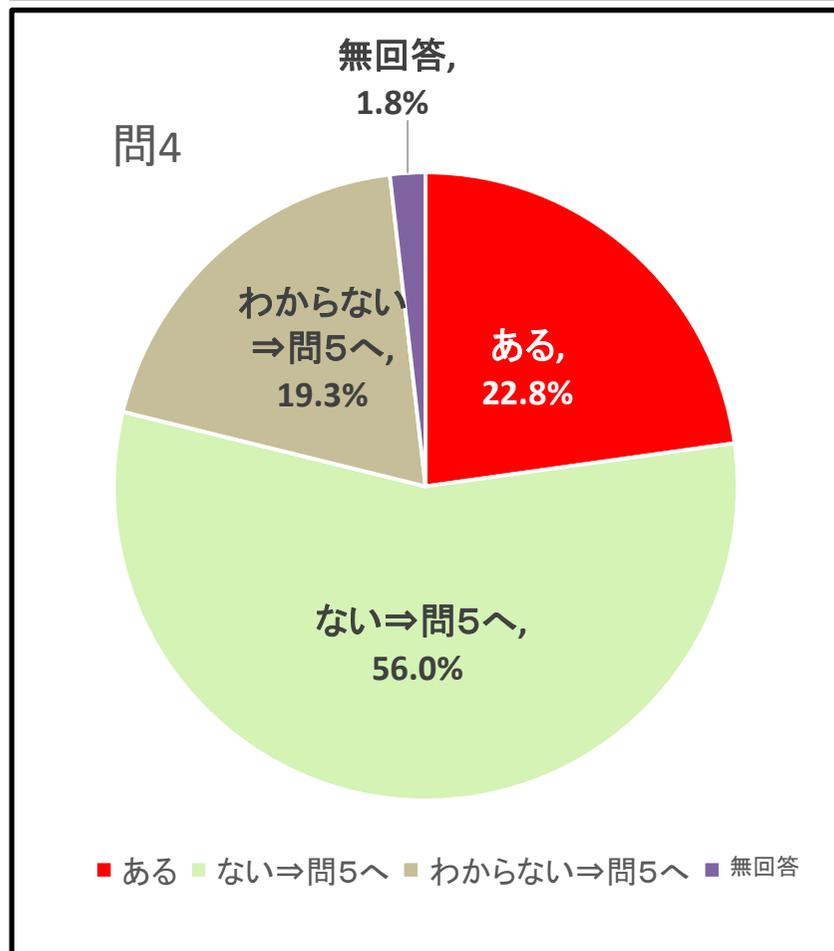
問3: 10年前に比べて、人権が尊重されるようになってきていると思いますか。あなたの気持ちに一番近いものをお答えください。(1つ) [H20調査: 選択肢4つ]



・「そう思う(計)」は47.4%、前回「そう思う」は19.8%。
・「そうは思わない(計)」は13.6%、前回「そうは思わない」は10.4%。
・「どちらともいえない」が前回(43.6%)から18.3ポイント、「わからない」が前回(23.8%)から11.4ポイント低下している。

(5) 人権を侵害された経験

問4: あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(1つ)

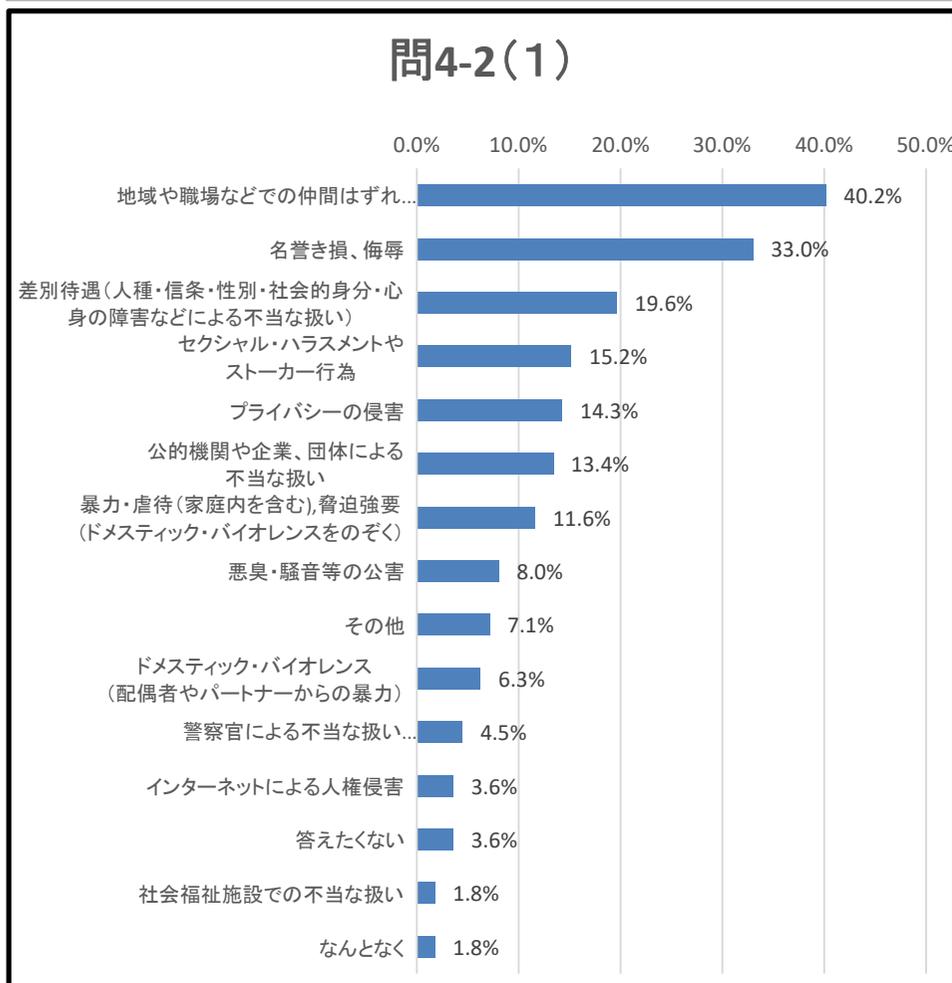


・「ない」が5割を超えているものの、「ある」は前回(21.6%)より1.2ポイント上昇、「ない」は前回(58.7%)より2.7ポイント低下している。
・「ある」は県調査(21.9%)より0.9ポイント、H29内閣府調査(15.9%)より6.9ポイント高くなっている。

(6) 人権を侵害されたと思った内容

問4-2(1): 【問4で「1ある」を選んだ人のみ回答】

(1) あなたが侵害されたと思った内容はどのようなものでしたか。(いくつでも)

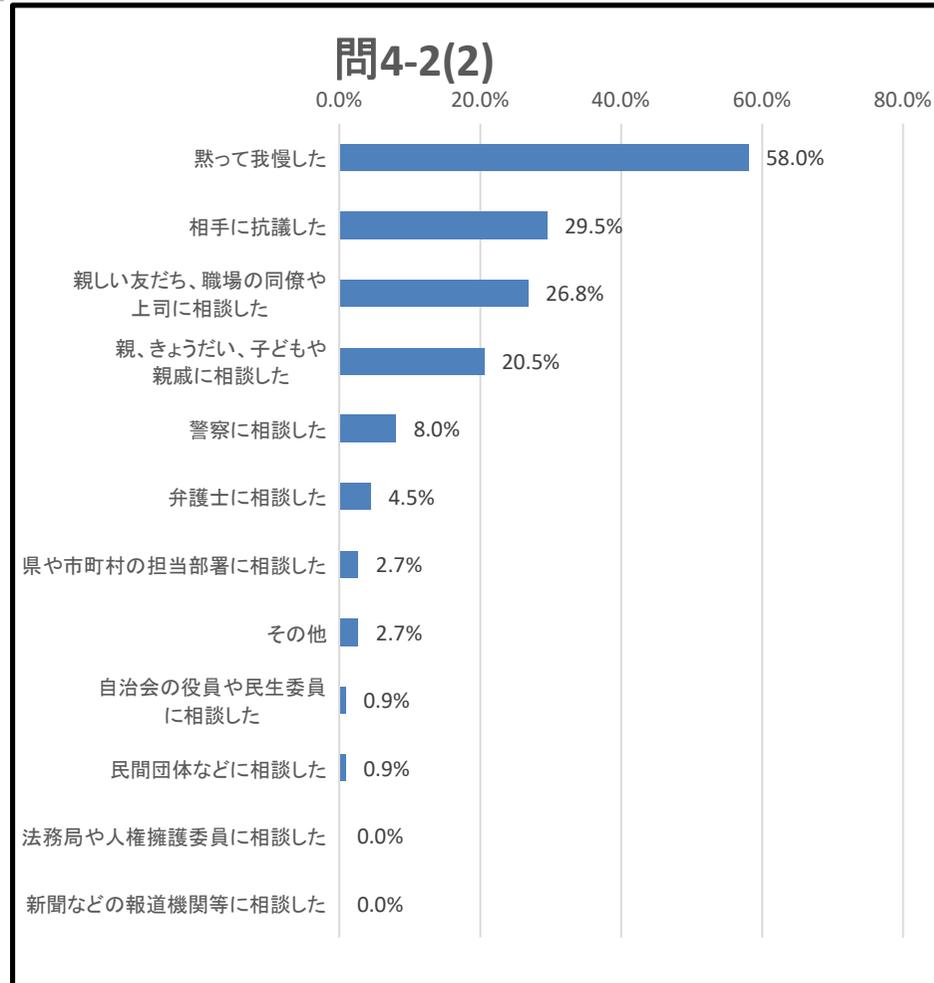


・「地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)」が、前回(26.7%、2位)から13.5ポイント上昇し1位に、「名誉き損、侮辱」が前回(29.8%、1位)から3.2ポイント上昇し2位になった。県調査も、「仲間はずれ」(30.2%→36.9%)、「名誉き損、侮辱」(37.9%→32.4%)と1位と2位が逆転。
 ・「セクシャル・ハラスメントやストーカー」が前回(9.2%)から6.0ポイント上昇。

(7) 人権を侵害された際の対処法

問4-2(2): 【問4で「1ある」を選んだ人のみ回答】

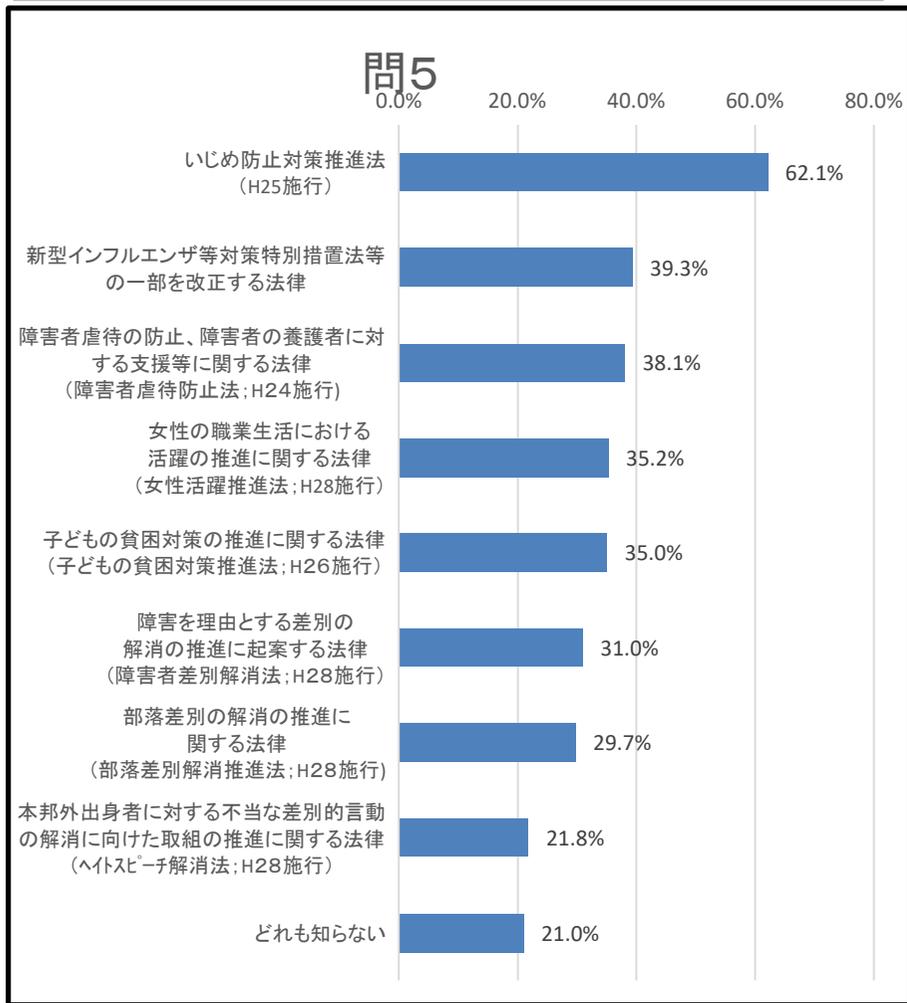
(2) そのとき、あなたはどのようにされましたか。(いくつでも)



・「相手に抗議した」が前回(21.4%)から8.1ポイント上昇したが、「黙って我慢した」が前回(65.6%)から7.6ポイント低下したものの、依然高い。
 ・相談した先として、「警察」は前回(5.3%)から2.7ポイント、「弁護士」は前回(0.8%)から3.7ポイント上昇しているが、公的機関である「県や市町村の担当部署」や「法務局や人権擁護委員」などは5%に満たない。

(8)新たに施行された人権に関する法律の認知度

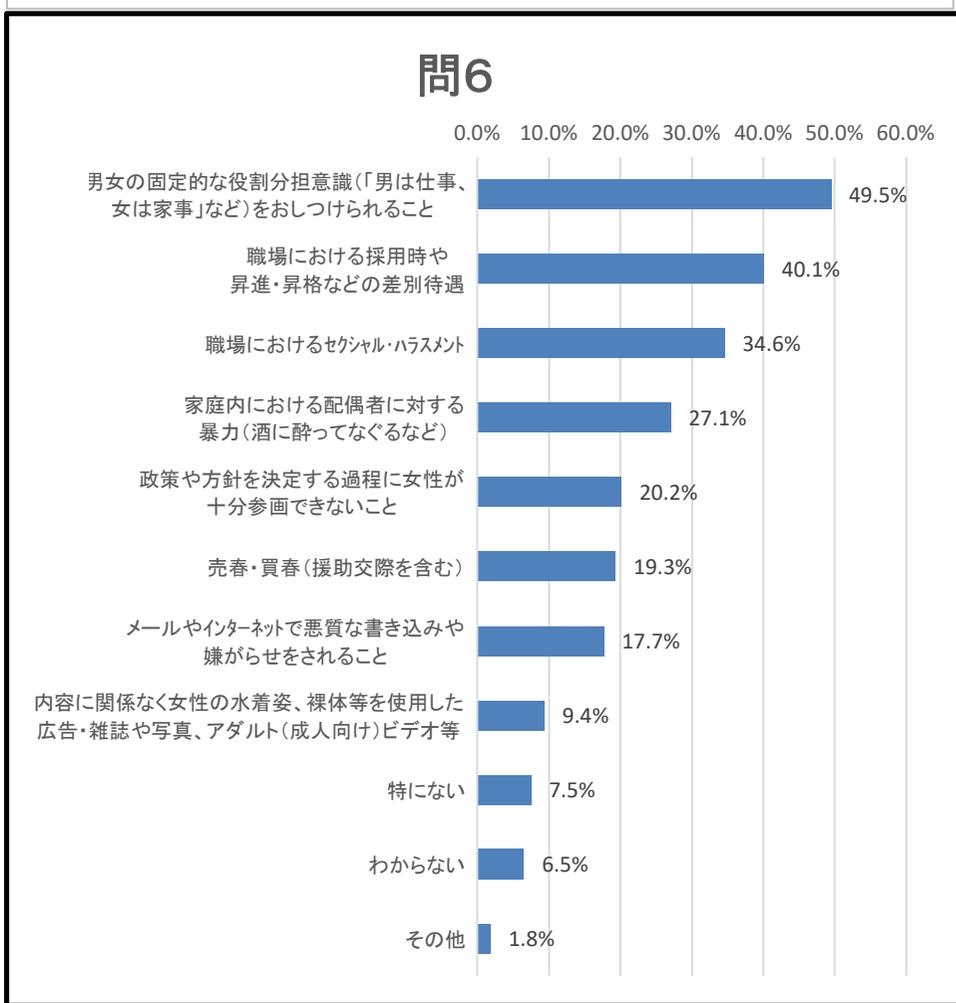
問5:あなたは、以下の法律が施行されたことを知っていますか。
(知っているもの全て)



・県調査でも、同様に、「いじめ防止対策推進法」60.9%、「障害者虐待防止法」41.7%、「女性活躍推進法」33.8%、「子どもの貧困対策推進法」32.6%、「障害者差別解消法」31.5%、「部落差別解消推進法」26.7%、「ヘイトスピーチ解消法」21.8%、「どれも知らない」19.7%となっている。

(9)女性に関する人権上の問題点

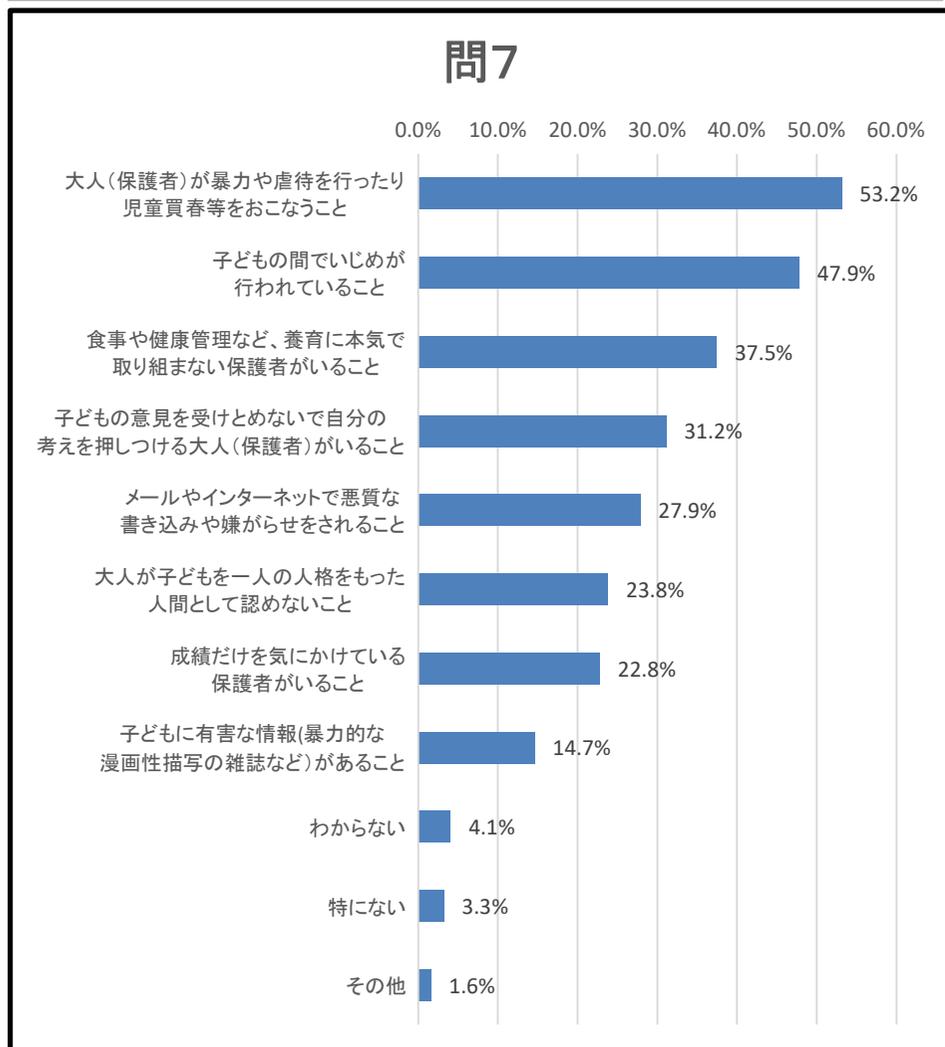
問6:あなたは、女性に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・「男女の固定的な役割分担意識をおしつけられること」は、前回調査42.9%から6.6ポイント上昇。(県調査40.3%→41.6%)
 ・「職場におけるセクシャルハラスメント」が前回19.6%から15.0ポイント上昇。(県調査19.5%→30.0%)

(10)子どもに関する人権上の問題点

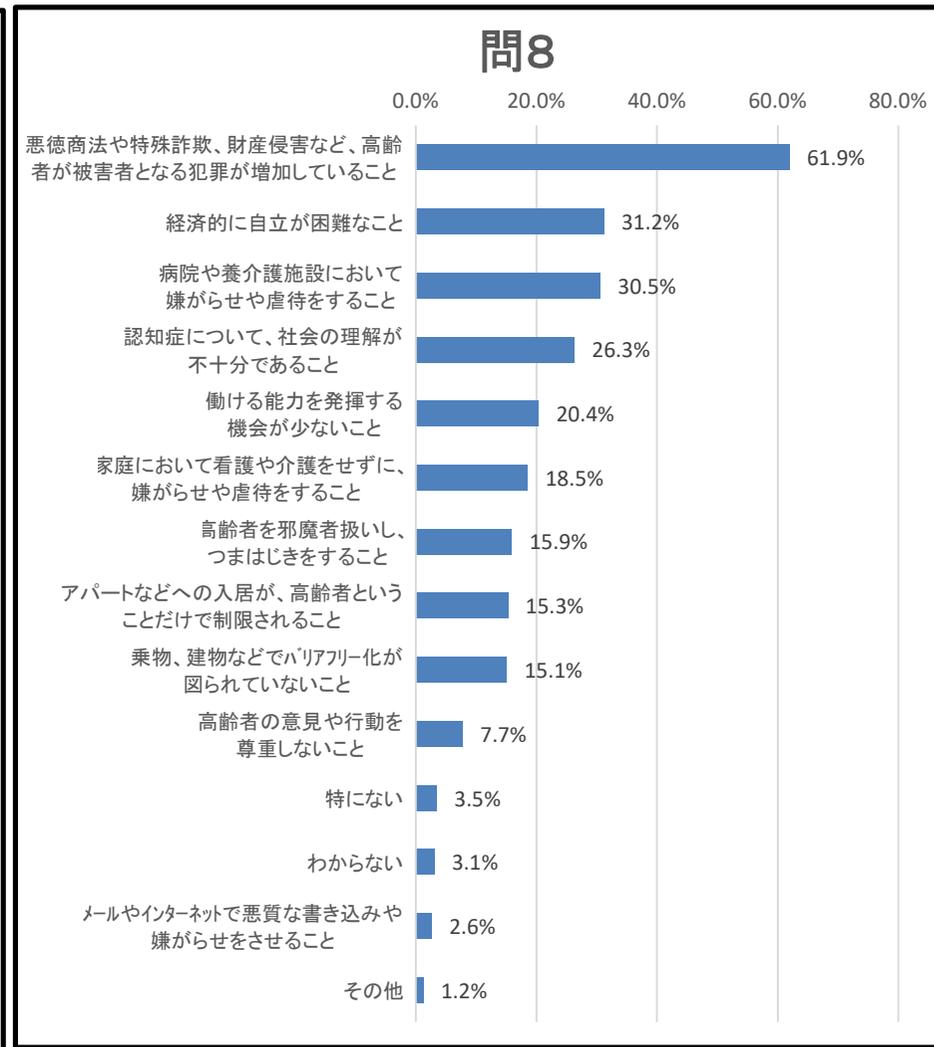
問7:あなたは、子どもに関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・「大人が暴力や虐待を行ったり、児童買春等をおこなうこと」が前回調査40.1%から13.1ポイント上昇。(県調査38.3%→46.3%)
 ・「子どもの間でいじめが行われていること」も同様に上昇。

(11)高齢者に関する人権上の問題点

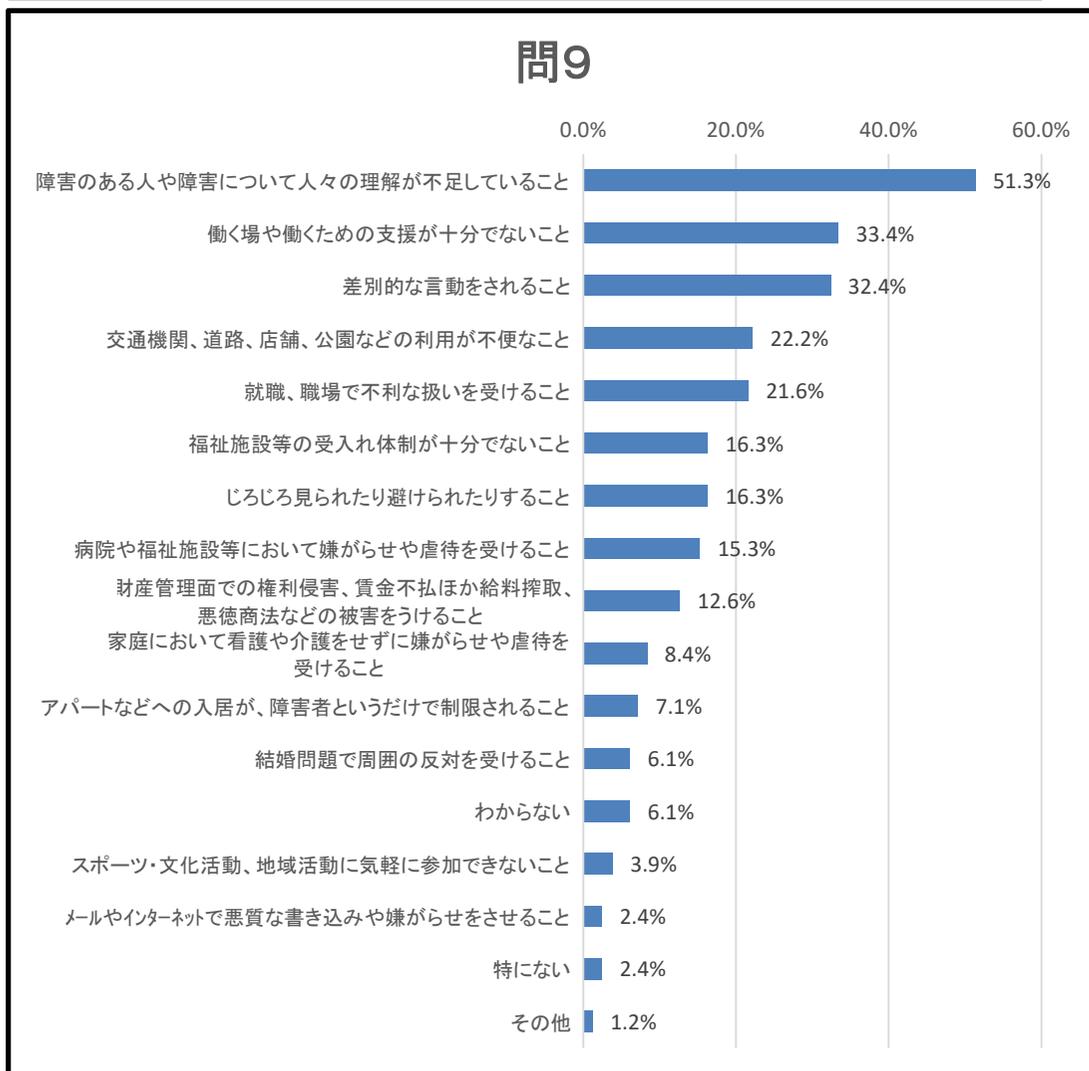
問8:あなたは、高齢者に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・前回同様、「悪徳商法や特殊詐欺、財産侵害など、高齢者が被害となる犯罪が増加している」が6割を超えている。「病院や要介護施設において嫌がらせや虐待をすること」が15.5%から15ポイント上昇。(県調査15.9%→25.8%)

(12) 障害のある人に関する人権上の問題点

問9: あなたは、障害のある人に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)

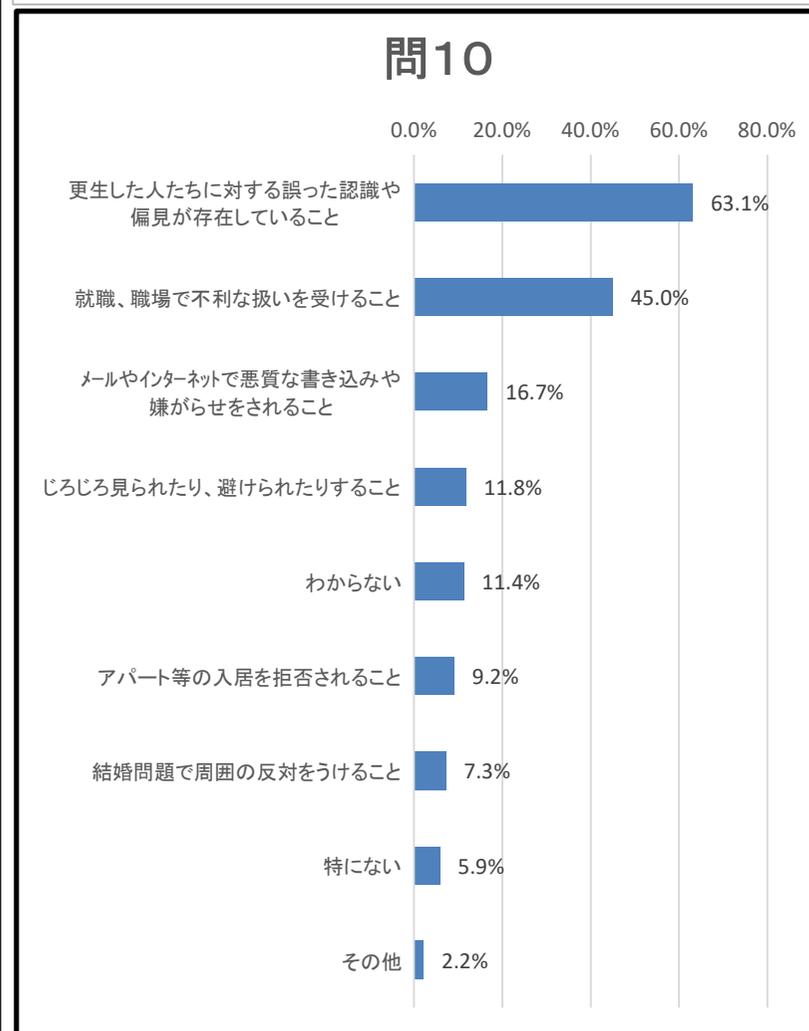


・前回調査より5.8ポイント低下したものの、依然、「障害のある人や障害について人々の理解不足」が5割を超えている。(県調査56.4%→50.2%)

- ・「働く場や働くための支援が十分でないこと」は前回より17.9ポイント低下。
- ・「差別的な言動をされること」は前回より8.6ポイント上昇。

(13) 罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点

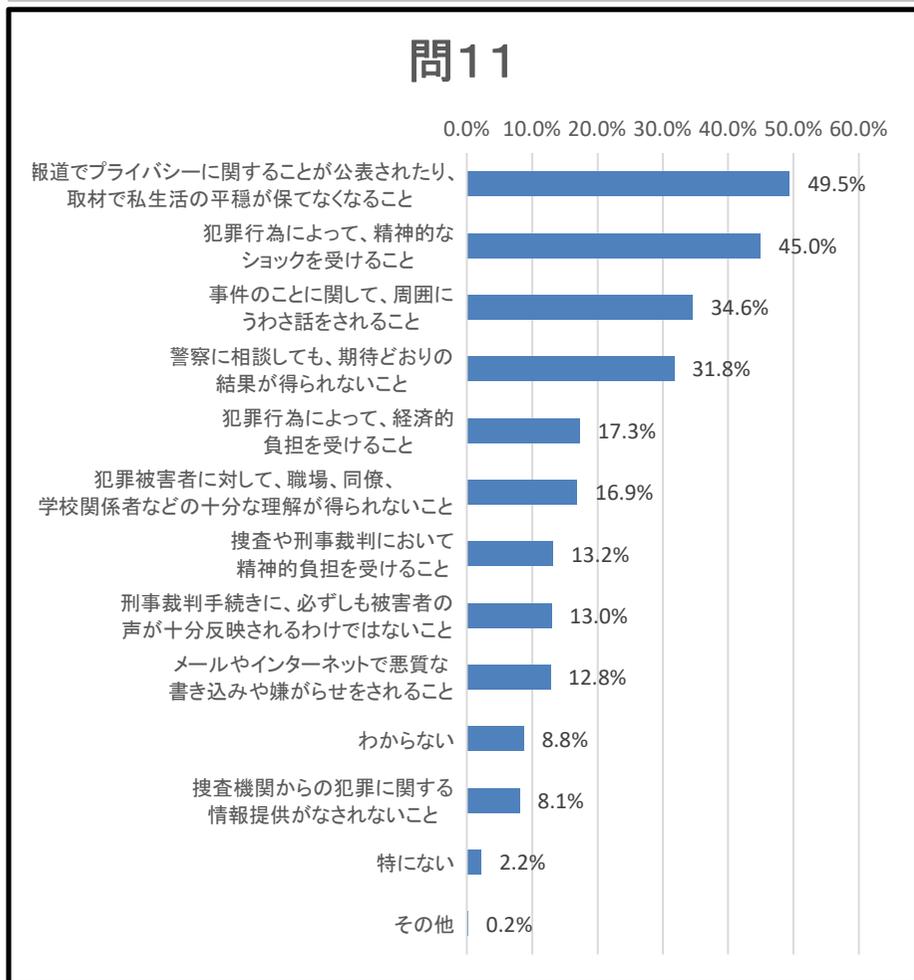
問10: あなたは、罪や非行を犯した人が罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとする場合、どのような問題があると思われるですか。(2つまで)



・前回調査と同様、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が63.1%と高く、「就職、職場で不利な扱いを受けること」も45.0%と高い。「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること」は前回より14.2ポイント上昇。

(14) 犯罪被害者に関する人権上の問題点

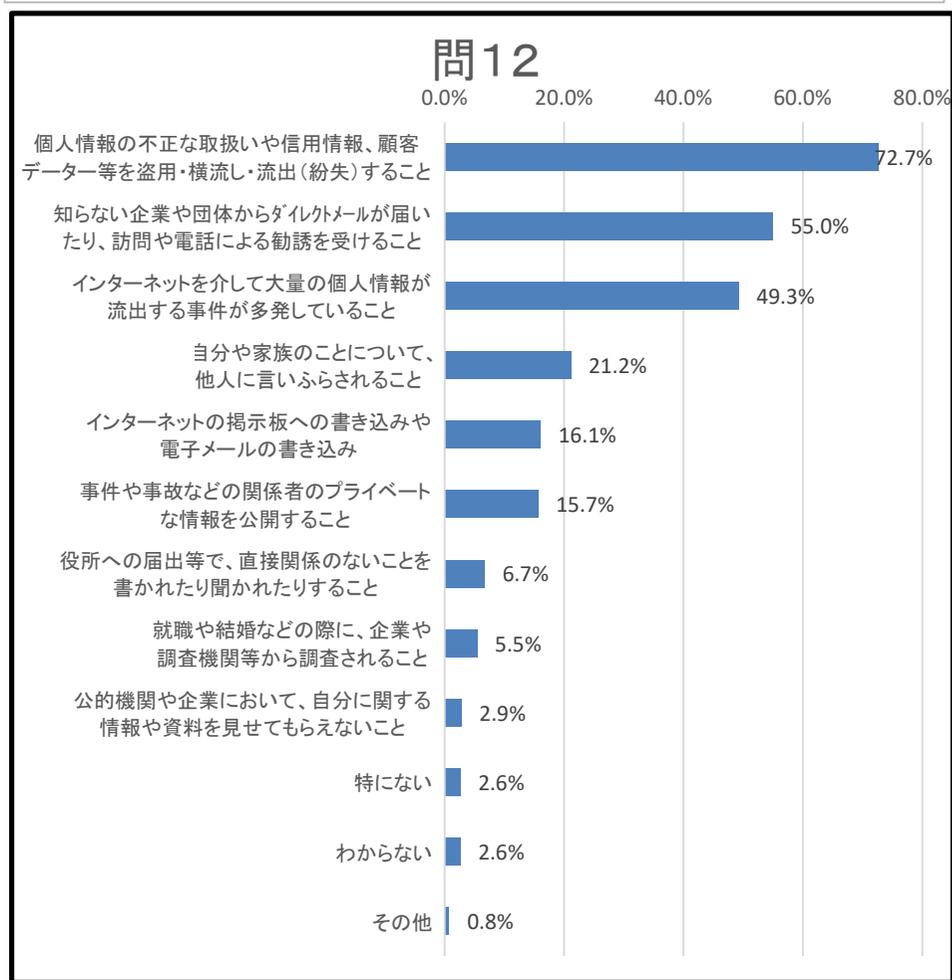
問11: あなたは、犯罪被害者に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・「報道でプライバシーに関することが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなること」と「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」が5割近くあり、3位の「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が前回調査より7.7ポイント高くなっている。

(15) プライバシーの保護に関する人権上の問題点

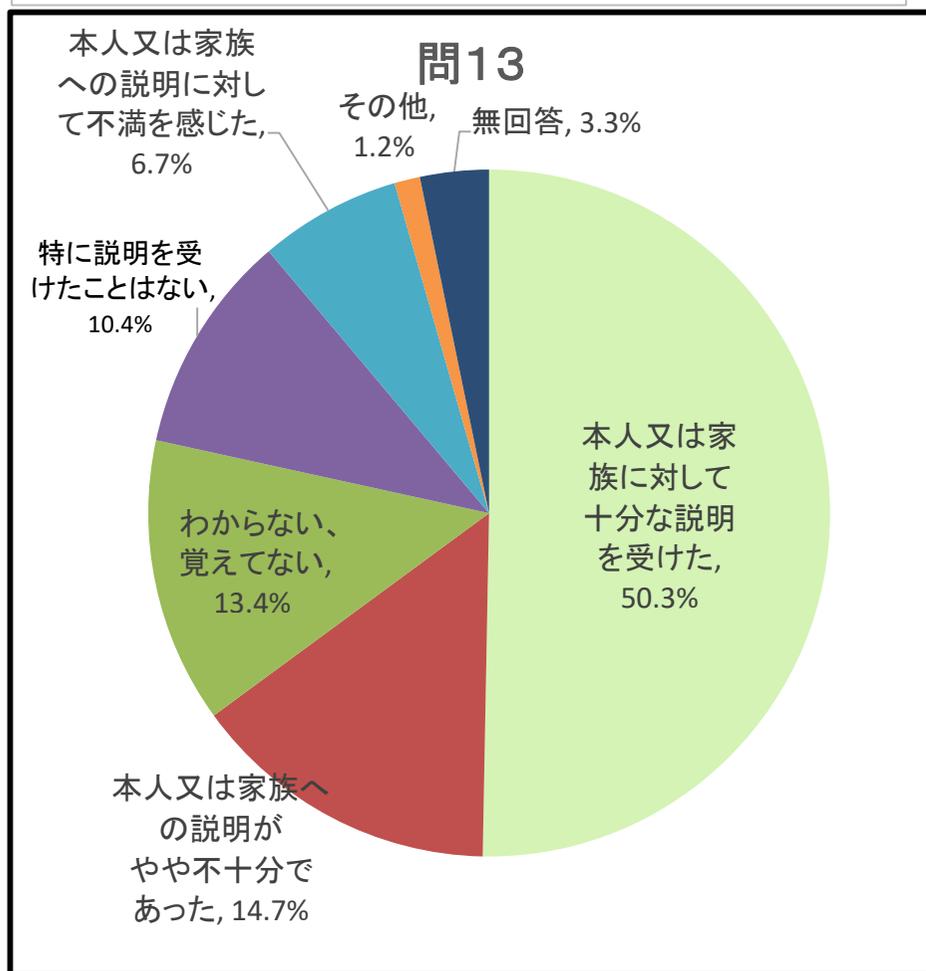
問12: あなたは、プライバシーの保護に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出(紛失)すること」が72.7%と高く、3位の「インターネットを介して大量の個人情報が流出する事件が多発していること」が49.3%と前回調査より10.7ポイント高くなっている。(県調査35.6%→46.1%) 「インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」も前回より9.2ポイント上昇。

(16) インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応

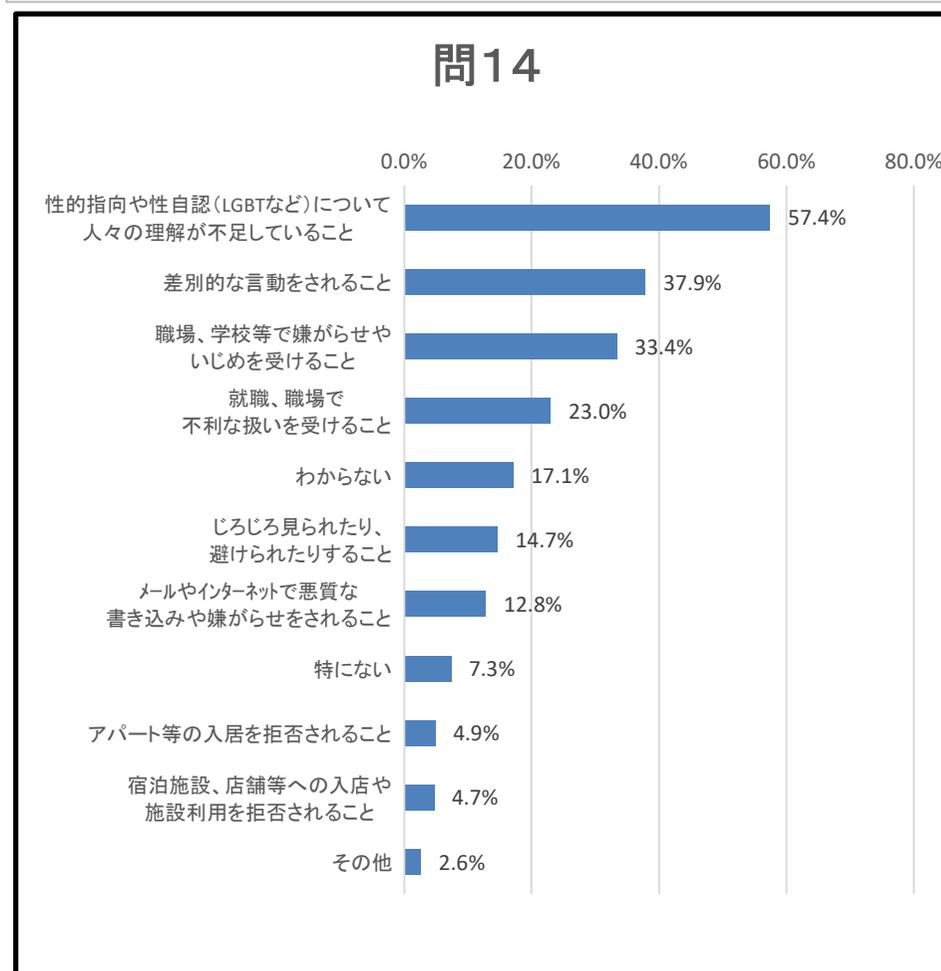
問13:「インフォームド・コンセント」(治療の目的や内容を納得できるように患者に説明し、了承を得て治療をすること。)が患者の権利として重視されていますが、あなたがこれまでに受けた医療機関の対応は、次のうちどれに近いですか。(1つ)



・「本人又は家族に対して十分な説明を受けた」が5割を超えるが、「本人又は家族への説明がやや不十分」や「わからない、覚えていない」、「特に説明を受けたことはない」、「本人又は家族への説明に対して不満を感じた」も前回調査とほぼ同じ割合(1ポイント以内の差)である。

(17) 性的指向や生物学的な性と自認が一致しない人などに関する人権上の問題点

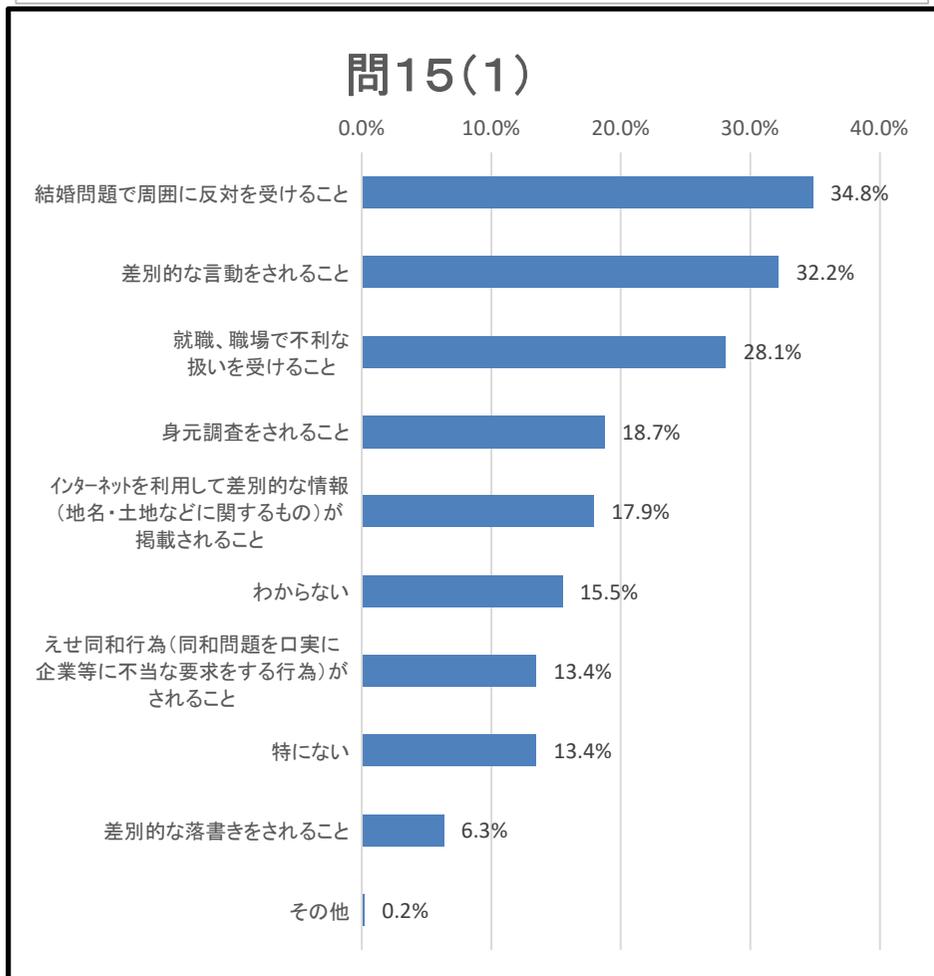
問14:あなたは、性的指向(好きになる性)や、生物学的な性(からだの性)と自認(こころの性)が一致しない人などに関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・前回調査にはなかったが、「性的指向や性自認(LGBTなど)について人々の理解が不足していること」が57.4%と最も高く、「差別的な言動をされること」、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」が県調査と同様で順に高い。

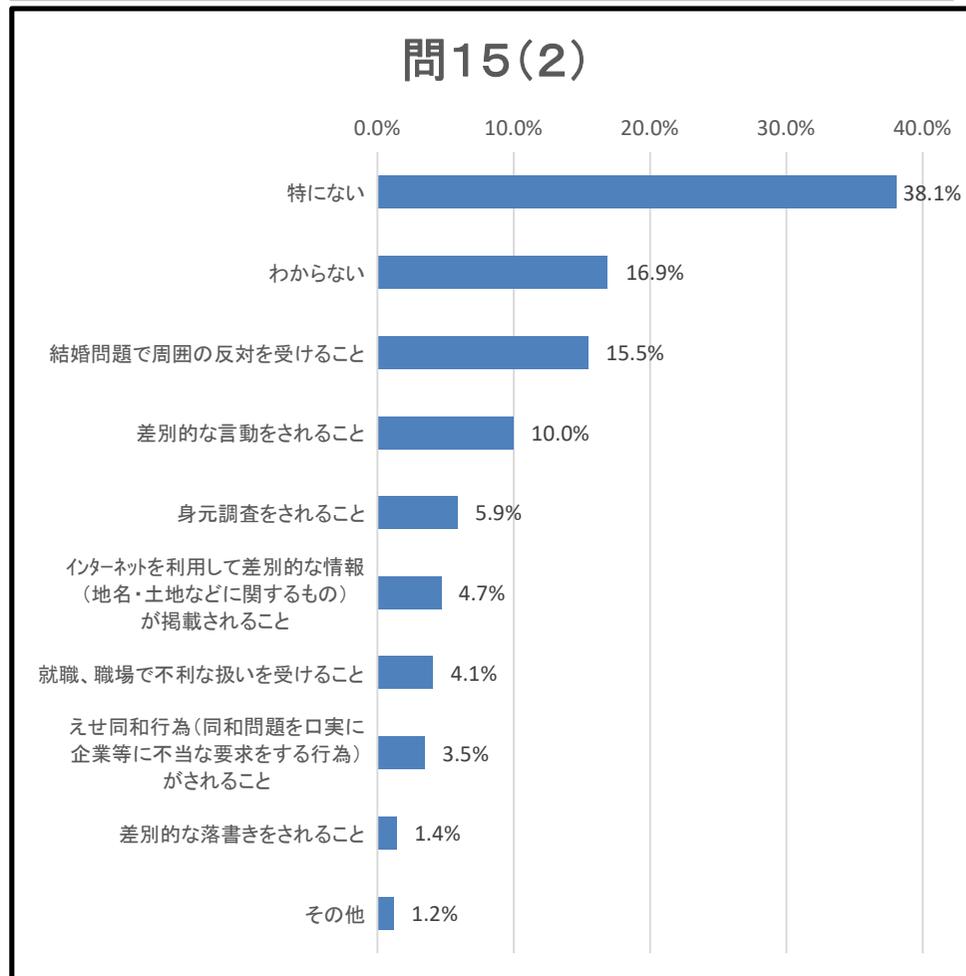
(18) 同和問題に関する人権上の問題点と見聞

問15(1): あなたは、同和問題に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)
[H20調査から選択肢変更]



・前回調査の「偏見が残っていること」の選択肢がなくなったこともあり、「結婚問題で周囲に反対を受けること」が前回調査より4.1ポイント高く、「差別的な言動をされること」が32.2%で13.9ポイント高くなっている。「就職、職場で不利な扱いを受けること」は前回4.8%から28.1%、「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」が3.3%から17.9%と、全体的に高くなっている。

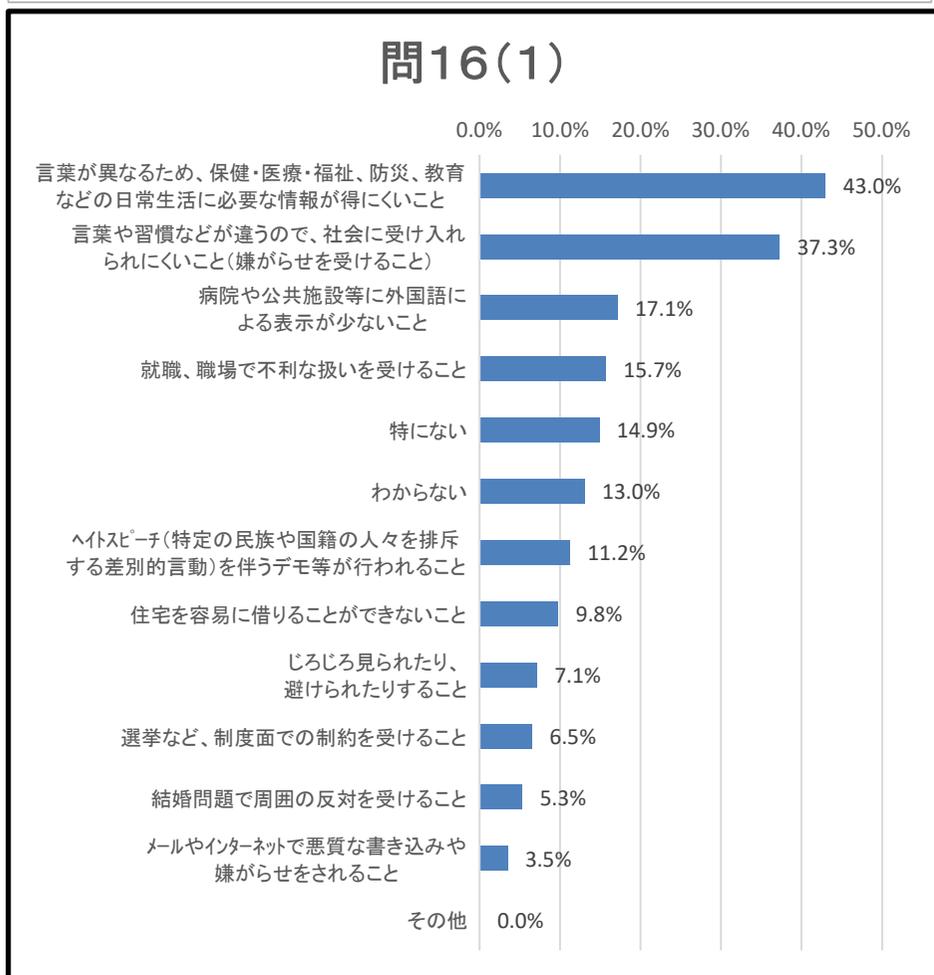
問15(2): 同和問題に関することからで、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。(3つまで)



・前回調査にはなかったが、県調査と同様に、「結婚問題で周囲の反対を受けること」や「差別的な言動をされること」、「身元調査をされること」も見受けられる。

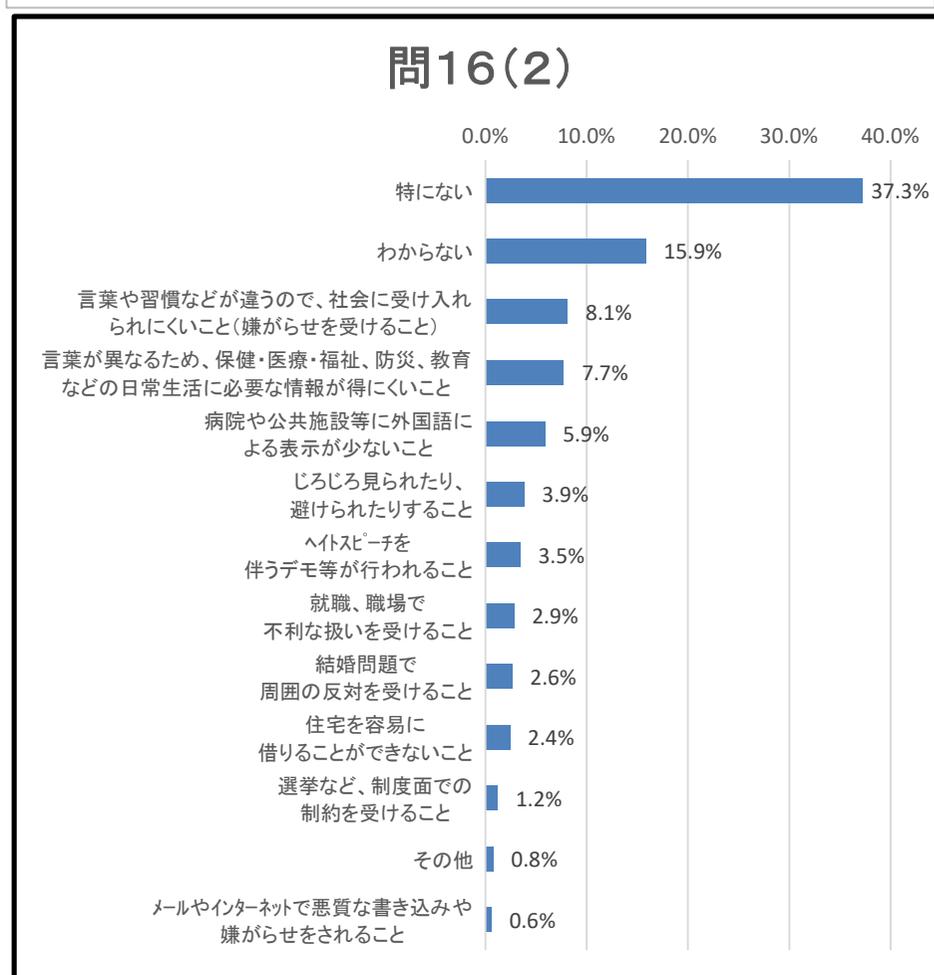
(19)外国人に関する人権上の問題点と見聞

問16(1):あなたは、外国人に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・新たな選択肢「ヘイトスピーチを伴うデモ等が行われること」が設けられたこともあり、県調査と同様に、全体的に低くなっているが、「就職、職場で不利な扱いを受けること」が前回調査12.2%より3.5ポイント高くなっている。

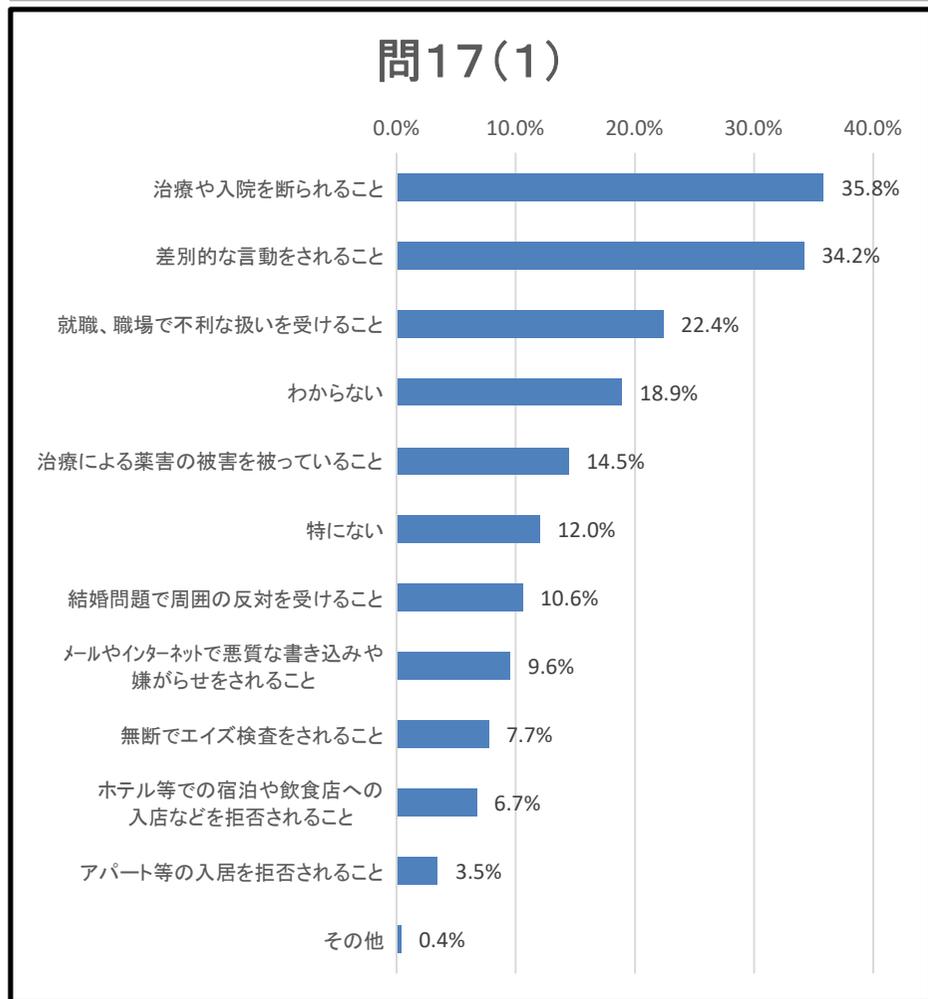
問16(2):外国人に関することからで、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(3つまで)



・前回調査にはない。県調査と同様に、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと(嫌がらせを受けること)」や「言葉が異なるため、保健・医療・福祉・防災・教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」等が実際にあることがわかる。

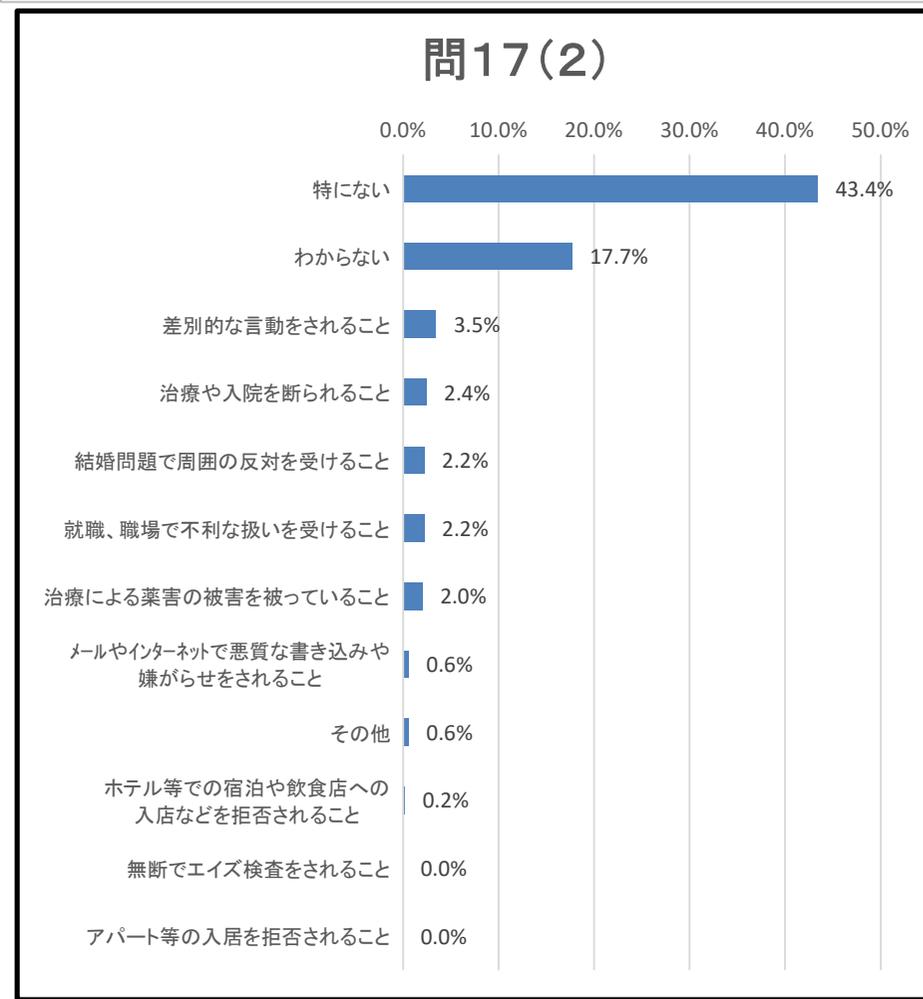
(20) 感染症患者等に関する人権上の問題点と見聞

問17(1): あなたは感染症患者等(HIV感染者・患者等)に関することからで、問題があると思われるにはどのようなことですか。(3つまで)



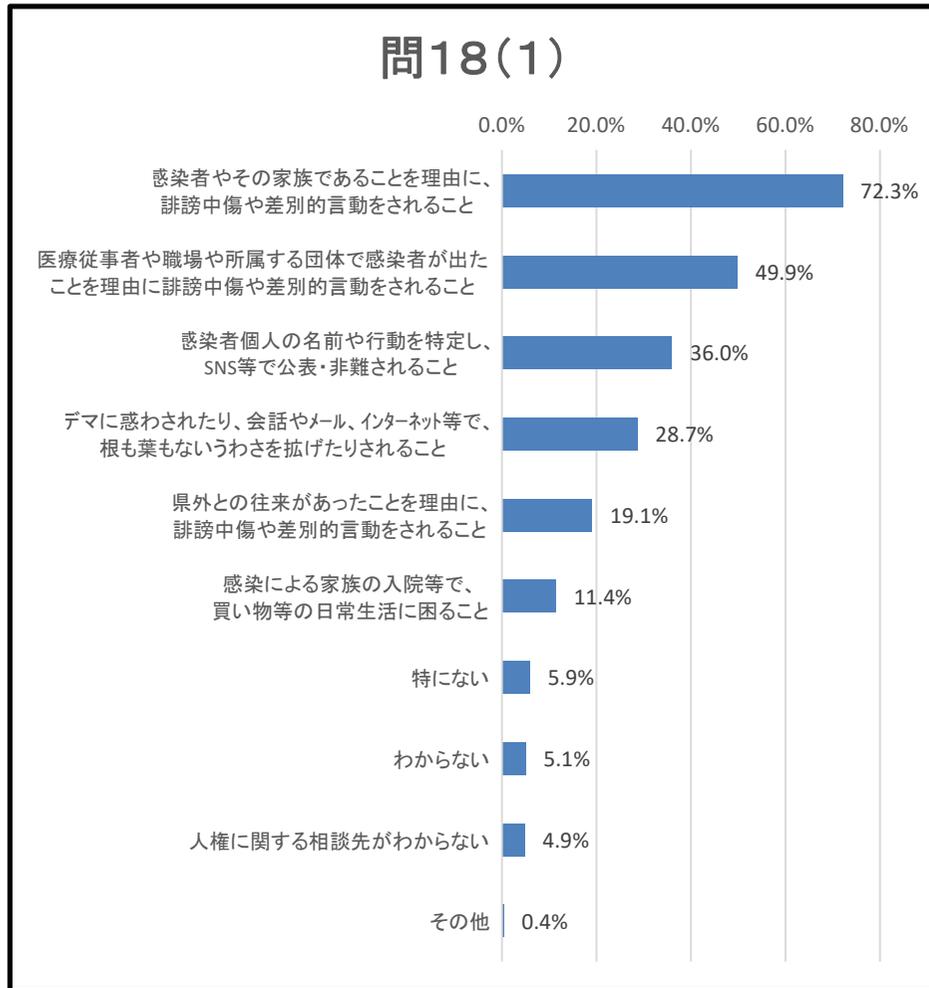
・「治療による薬害の被害を被っていること」が前回調査29.9%から15.4ポイント低くなっているが、「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること」が7.1ポイント高くなっている。(県調査2.7%→5.3%)

問17(2): 感染症患者等(HIV感染者・患者等)に関することからで、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。(3つまで)



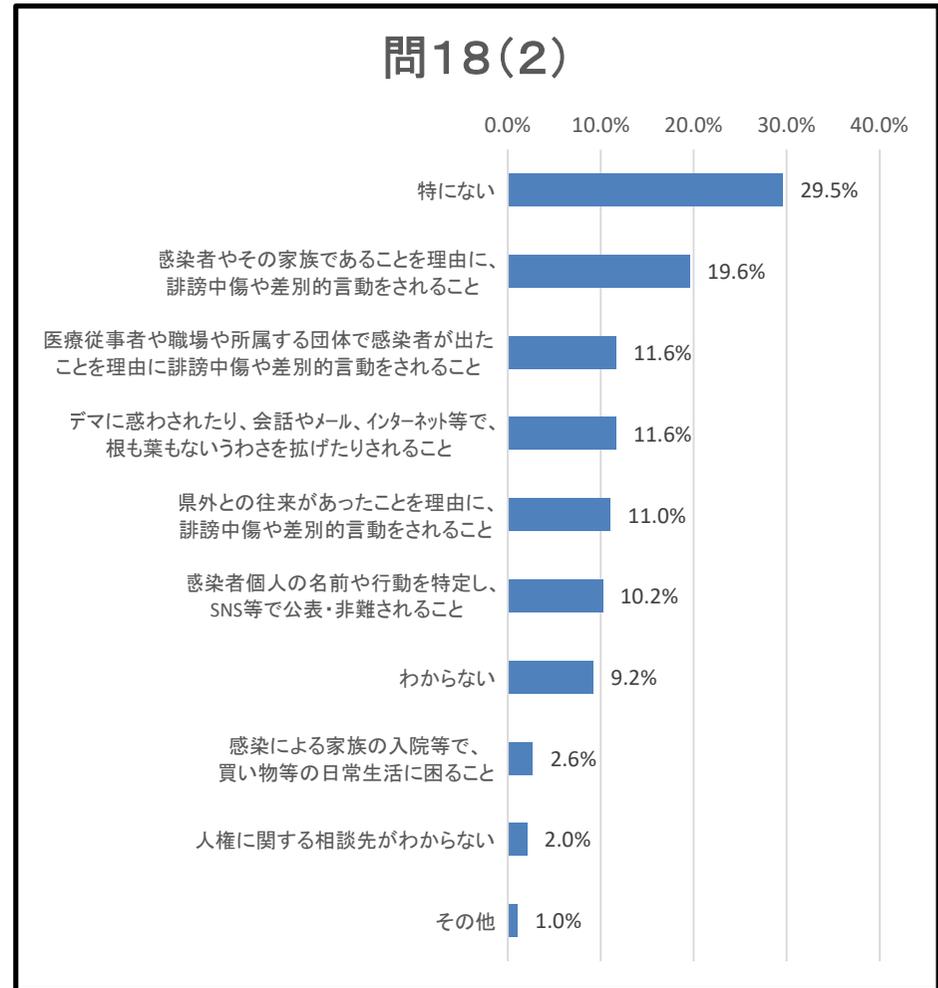
・前回調査にはない。県調査でも、同様の傾向がみられる。

問18(1):あなたは、感染症患者等(新型コロナウイルス感染者やその家族・医療従事者等)に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか。(3つまで)



・前回調査にはない町の独自項目。「感染者やその家族であることを理由に、誹謗中傷や差別的言動をされること」が72.3%と高く、「医療従事者や職場や所属する団体に感染者が出たことを理由に誹謗中傷や差別的言動をされること」が49.9%と高い。

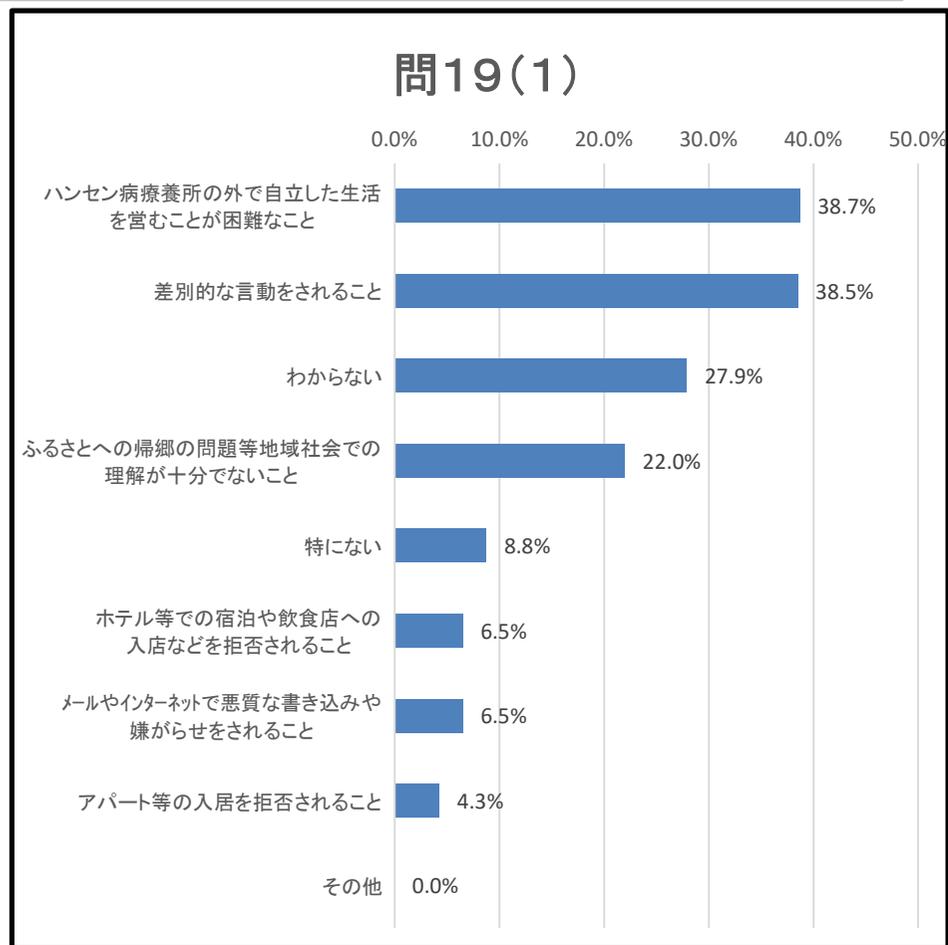
問18(2):感染症患者等(新型コロナウイルス感染者やその家族・医療従事者等)に関することから、あなたが、実際に見聞きしたものがありますか。(3つまで)



・前回調査にはない。感染症患者等(新型コロナウイルス感染者やその家族・医療従事者等)に対し、誹謗中傷や差別的言動が見聞きされている。

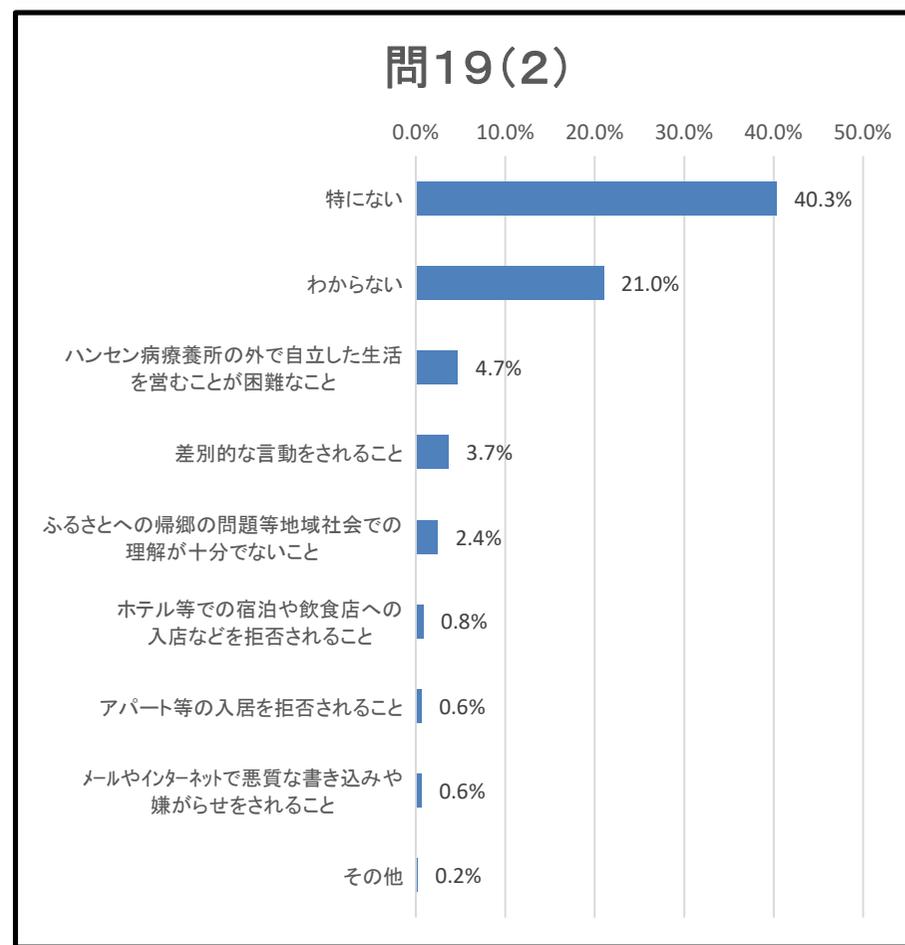
(21)ハンセン病問題に関する人権上の問題点と見聞

問19(1):あなたは、ハンセン病問題(ハンセン病患者・元患者とその家族)にすることがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(2つまで)



・「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」は前回42.9%から4.2ポイント低くなり、「差別的な言動をされること」は27.6%から10.9ポイント高くなっている。(県調査では、上位2項目が、30%前後となっている。)

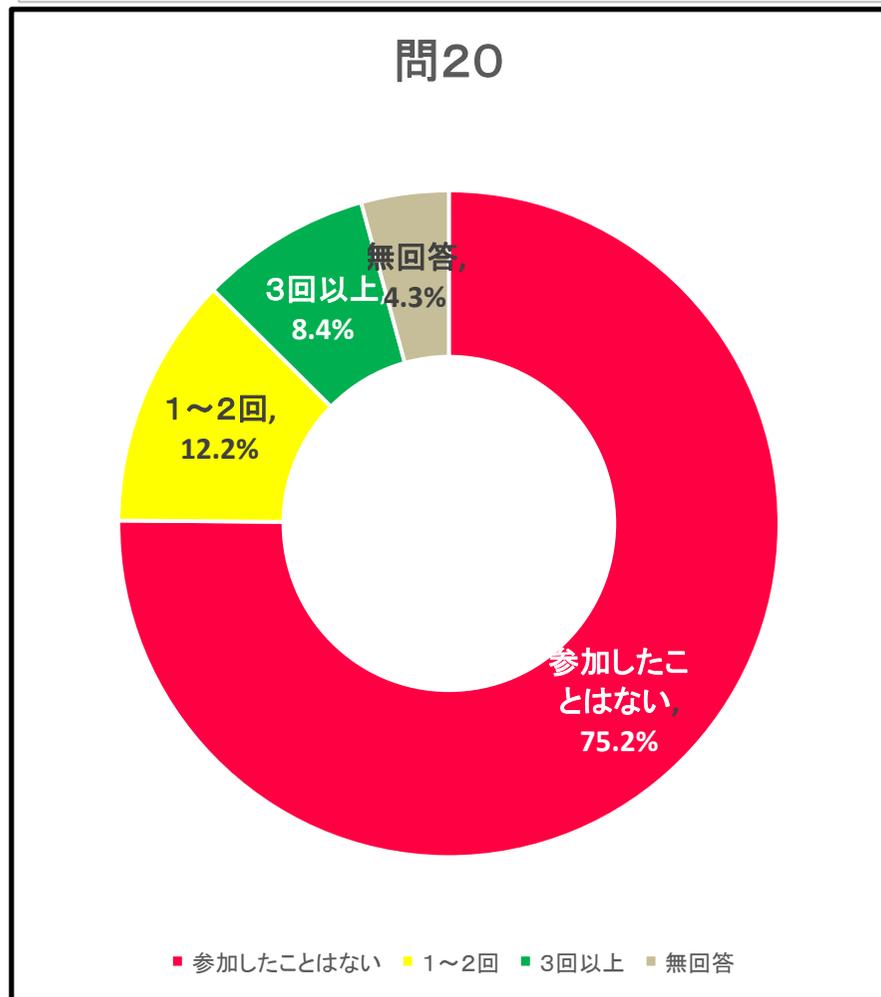
問19(2):ハンセン病問題(ハンセン病患者・元患者とその家族)にすることがらで、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものはありますか。(2つまで)



・前回調査にはない。県調査と同様、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」や「差別的な言動をされること」、「ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと」等見聞きされている。

(22) 講習会・研修会・学習会等への参加経験

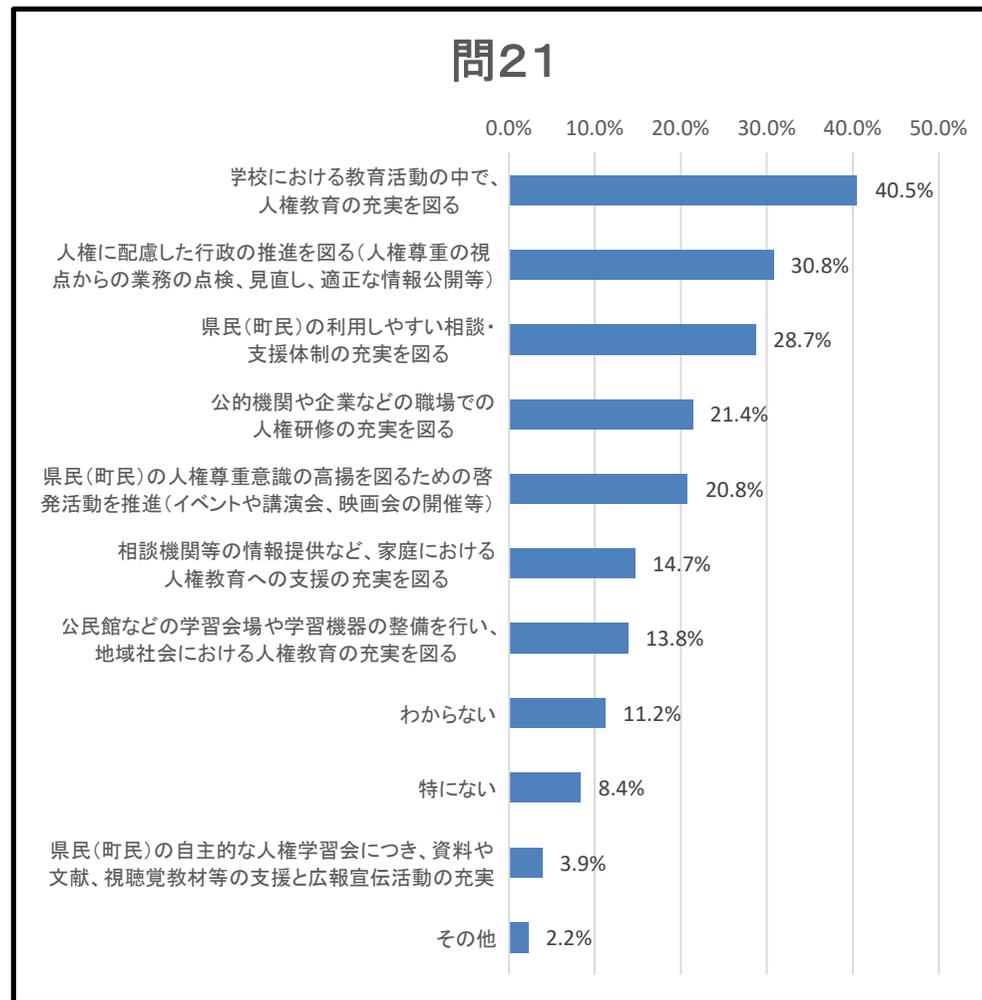
問20: あなたは、県や市町のほか、職場や民間団体等が実施した講演会・研修会・学習会等に、過去5年間で何回参加されたことがありますか。



・前回調査にはない。講演会・研修会・学習会等に参加したことがない人が75.2%（県調査80.1%）と多くの人が参加したことがない。

(23) 人権に関する取組の今後の条件整備

問21: あなたは、今後、人権に関する取組として、どのような条件整備に力を入れていけばよいと思われますか。（3つまで）



・「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」が前回調査53.5%から13ポイント低く、県調査より4.9ポイント低い。「人権に配慮した行政の推進を図る」は県調査より6.3ポイント高い。ほとんどの項目で前回より低くなっているが、「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」が県調査とも若干高くなっている。